

十八歳で選挙権を得る世代へ

～ 戦中 戦後 を 学 ん で ～



第30号

発行日 平成30年3月1日

発行・編集

秀芳会

県立水戸第二高等学校同窓会
茨城県水戸市大町2-2-14
☎029(224)2543(代)

印刷所 樹あけほ印刷社
☎029(227)5505(代)

平成二十八年、十八歳からの選挙権が認められた。二十九年の衆議院選を経験した在校生と、世界大戦激化の中に学んだ卒業生、水戸空襲を体験し焼け跡から立ち上った卒業生の、それぞれの思いを寄せていただいた。十八歳で選挙権を得る世代に、卒業生の思いをくみ取り、明るい未来を築いて欲しいと願っている。

戦況厳しき中に

昭20卒 大津 禮子

『水戸二高七十年史』の後書きに、母校の戦中戦後史に欠如があるが、ぜひ記憶に残したいという文があります。その戦中の四年間を過ごした私たちの年代の思いを記したいと思えます。



昭和十六年四月、憧れの「エンジ色のネクタイ」で入学しました。しかし五月二十日物資不足のため、ネクタイは三角の小さな台座となり、上に「那珂川の流れ」を表す校章をつけ、学校生活も一変しました。

素晴らしい講堂での音楽会。部活動は続けられましたが、同年十二月八日世界大戦が始まり、生徒動員開始、学業は殆ど受けられなくなり、英語は敵国語、洋楽も禁止となり、私たちは日立市多賀の「日製船川工場」に通い、飛行機の部品製作の補助員として働きまわりました。通勤の汽車の窓は覆



跡かたもない水戸郵便局

われ、外の景色は見られませんでした。友達と過ぐすその一時は楽しい時間でした。戦況が厳しくなる中、私たちは「看護学」を学びました。四年生になった頃、各教室から劇を上演する事になり、これをきっかけに演劇部の活躍が始まりました。脚本を書いたり、セリフを覚えたり、衣装、小道具に至るまで、友と創意工夫を凝らし、それと共に沢山の友情が生まれました。

平和の時代へ

昭24卒 亀田 博子

今思うと、もっと勉学の時間が欲しかったと、七十有年前を懐かしみ、生徒動員の工場で負傷した、右手の傷跡を眺めています。

昭和三十二年八月一日、焼夷弾投下で廃墟となった水戸の街、そして八月十五日の終戦、学校も全焼し、四十二部隊で授業が開始されることになりました。柱ばかりの板張りの壁、勿論この学校で学ぶ事が出来た同級生も沢山おられます。後輩の皆さんが学年紹介の折、一番判りにくい時期なのです。

秀芳会の大先輩の援助で再び大町の新校舎が復興。いつの頃からか机と椅子で授業を始めたのは定かではありませんが、一人一人自分の机と椅子を持って、新校舎へと列をなして歩いて行った日を思い出します。



卒業式が終わった後、校庭の片隅で背景や小道具を燃やしなが、輪になって肩を組み、演劇部の仲間達とも別れを告げました。

責任の重さを

3年 久保田真央

「ボンッ」その小さな音が、私を大人へと導いてくれました。選挙についてはテストのための学習として学んだのみで、正直興味はありませんでした。しかし候補者について調べ、考えらるうちに、私の心の中に「責任」という文字が芽生え、同時に選挙に対して心から向き合っている自分を見、あれよあれよという間に小型の携帯電話が世界中に普及しました。持ち運べる自由の電話の出現は十円あるいは百円硬貨を握り、私たちにとって大変な方ルチャーショックでありましたが、最初は使用料も安価ではなかったのに、変化の中で私たちが人間らしく生きていくことを真剣に考える時代が来ています。

人間らしく生きる 一劇的な社会の 変化の中で

秀芳会会長 狩野 安



目覚ましい通信の技術革新を経て、ほとんどの人が利用可能な料金になり、便利さから若男女ほとんどの方が利用するようになり今日に至っています。



水戸二高の輝き

校長 生駒 忠夫

四月に赴任後、初めての女子(のみの学)校に日々驚きの連続です。主なものを月ごとにピックアップしてみます。四月：初めて開校の連続です。主なもの。五月：生徒総会での活発な意見。六月：みやび祭の盛り上がり。七月：生

徒主体の学校説明会。八月：各活動の活躍。海外研修が二つ。九月：クラスマッチの大歓声(校外で実施する意味を理解)。十月：修学旅行(先生を引っ張り出す巧みさ)。十一月：各グループでの活発な話し合い(公開授業にて)。



平成29年度 秀芳会総会

また、様々な文化祭やクイズ大会など、下校途中、困ったときに助けられた生徒が、このように感じています。下校途中、困ったときに助けられた生徒が、このように感じています。下校途中、困ったときに助けられた生徒が、このように感じています。

アトラクションは「笠間会」は母校の創立記念日に稲荷囃子保存会の公演。あたる五月二十日(土)に、水戸市のホテル・レイクビュー・水戸で開かれた。私たちが支部が担当したのが、地元総会のできる面・白い髪を振り乱して、狐が力強く勇壮に舞う。その舞手が、狐の面を外したら皆女性であった。これは会場が一瞬静まり、その後割れんばかりの拍手が起こった。三人とも女子高生であった。



平成二十九年秀芳会総会 ― 総会を担当して ―

友部支部支部長 深井 雅子

支部全員が何らかの役でスタッフになって総会に関わる、ということを目指し、支部の皆さんにも大変ご苦